

那覇都市圏環状道路の整備により渋滞緩和

【那覇都市圏環状道路の整備による効果】

平成11年に那覇東バイパス(第1環状道路)
平成12年に南風原道路(第2環状道路)が開通

- ・那覇都市圏の一般道路の平均交通量は30,000台/日、混雑時平均旅行速度は14.9km/hと3大都市圏並
- ・都市内交通量を適切に分散するため、第1,第2那覇都市圏環状道路の整備を促進

↓

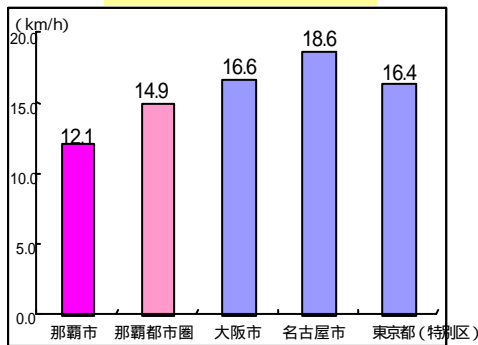
5 交差点で渋滞緩和

- ・那覇東バイパス 全線4車供用により
上間交差点 国場交差点 真玉橋交差点の渋滞緩和
- ・南風原道路 完成供用により
兼城交差点 新川交差点の渋滞緩和

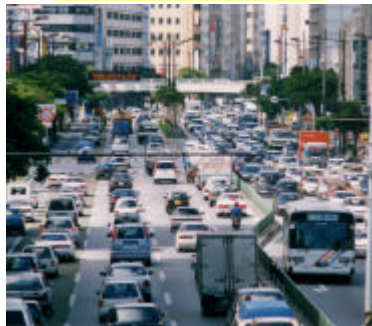
環状道路計画図



混雑時平均旅行速度



国道58号 那覇市前島



道路整備により都市機能が向上

【国道58号宜野湾バイパスの整備効果】

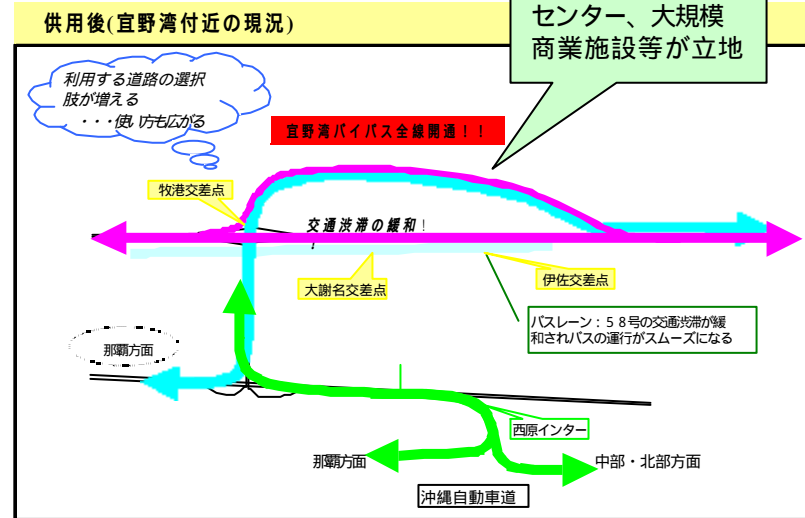
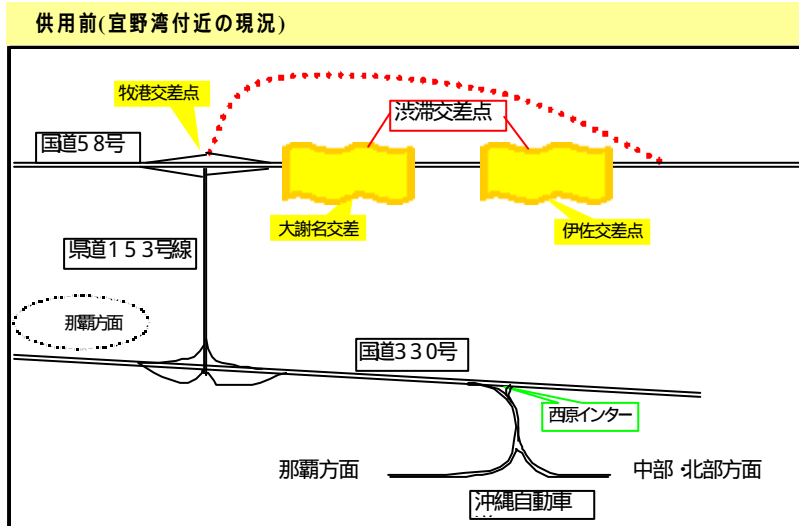
平成12年に宜野湾バイパスが全線開通

- ・伊佐交差点～牧港立体交差点の通過時間が6分短縮(16分→10分)
- ・旅行速度が9 km/h向上(15km/h→24km/h)



交通量が分散、バイパス沿道が活性化

- ・バイパス沿道には、コンベンションセンターや大規模施設等が立地し、地域が活性化



沖縄コンベンションセンター、大規模商業施設等が立地